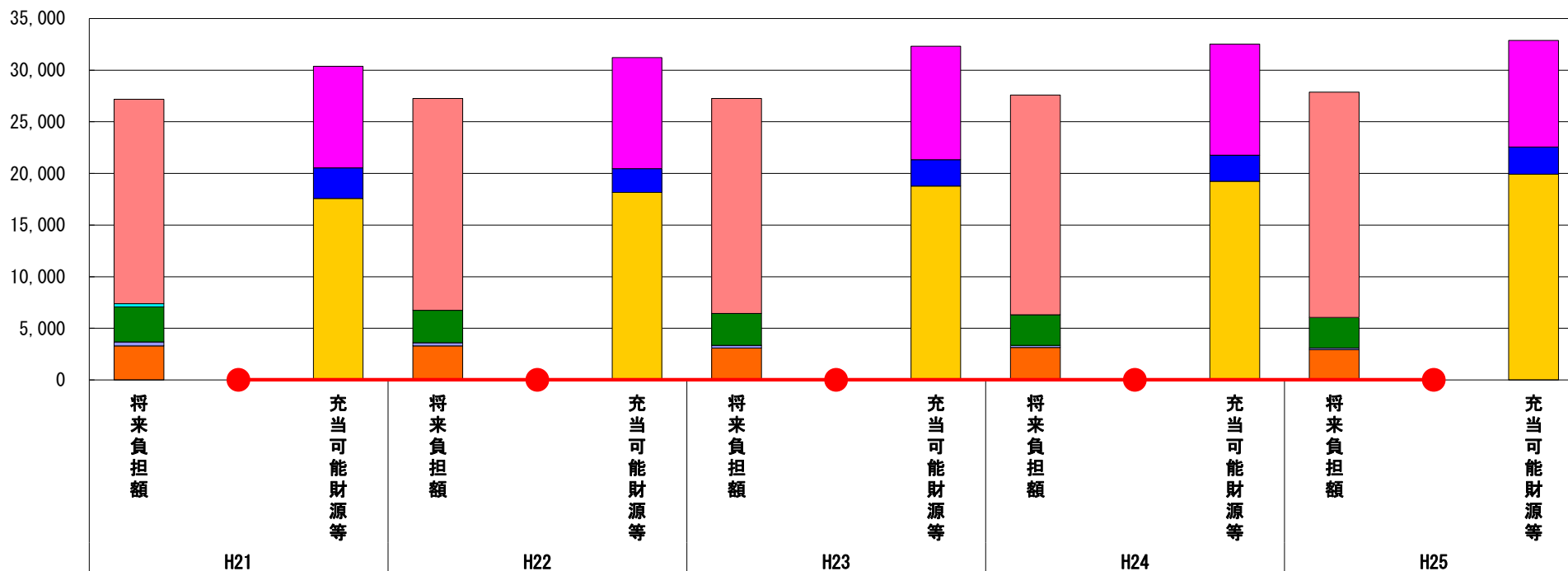


(8) 将来負担比率（分子）の構造（市町村）

平成25年度

千葉県四街道市

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H21	H22	H23	H24	H25
将来負担額 (A)	一般会計等に係る地方債の現在高		19,795	20,510	20,823	21,269	21,816
	債務負担行為に基づく支出予定額		305	-	-	-	-
	公営企業債等繰入見込額		3,389	3,138	3,067	2,975	2,960
	組合等負担等見込額		391	309	254	204	149
	退職手当負担見込額		3,290	3,289	3,107	3,138	2,945
	設立法人等の負債額等負担見込額		-	1	-	-	-
	連結実質赤字額		-	-	-	-	-
	組合等連結実質赤字額負担見込額		-	-	-	-	-
充当可能財源等 (B)	充当可能基金		9,816	10,753	10,981	10,756	10,305
	充当可能特定歳入		2,966	2,297	2,569	2,539	2,648
	基準財政需要額算入見込額		17,577	18,162	18,766	19,225	19,918
(A) - (B)	将来負担比率の分子		▲ 3,188	▲ 3,965	▲ 5,065	▲ 4,933	▲ 5,000

分析欄

将来負担すべき債務に対し、充当可能基金などによる充当可能財源が上回るため、将来負担比率は算定されない状況を維持している。

臨時財政対策債の増加などから地方債残高は増加を続け、将来負担比率自体は増加していないものの、臨時財政対策債の償還に係る基準財政収入額算入見込額も増加したため、将来負担比率(分子)は減少した。

防災対策施設の老朽化対策など、大規模事業も予定されているが、有利な起債を活用することなどにより、負担を抑制していく。

※平成26年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。